



感謝の心が人を育て、感謝の心が自分を磨く

今年の夏は、7月23日～8月8日に東京オリンピック、8月24日～9月5日に東京パラリンピックが開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大の中、開催された両大会については開催の賛否が取り沙汰されましたが、出場した選手の皆さんは各競技で熱戦を繰り広げ、オリンピックでは日本史上1位のメダルをパラリンピックでも日本史上2位のメダルを獲得し、私たちに感動と勇気を与えてくれましたことは記憶に新しいところです。

競技を終えた選手のインタビューを見ているとほとんどの選手が大会関係者やボランティア、自分を支えてくれたスタッフ、そして家族への感謝の気持ちを伝えることがこれまでの大会以上に多かったように思います。人間は自分一人では何もできないかもしれませんが、たくさんの人の支えや協力があってこそ初めて何かを成し遂げることができるのだと改めて感じさせられました。

「感謝の心が人を育て、感謝の心が自分を磨く」という名言があります。周りの人への感謝の気持ちを忘れないことが自分自身の成長につながります。生徒の皆さんも自分が多くの人たちに支えられているのだということを改めて認識して日々の生活を送ってくれることを期待しています。

(校長 野口 正樹)

<10月1日(金)以降の主な学校行事等について>

緊急事態宣言が延長されたため、9月30日(木)までは午前中授業としていましたが、10月1日(金)以降は、平常通り6時間授業といたします。

2学期に予定している主な学校行事について、以下の通りといたします。

◇体育大会 実施予定日 10/28(木) ※雨天の場合は、10/29(金)に順延

感染症対策を図るため、競技は、午前中に学年別(1→2→3年の順)で開催し、午後は、生徒会種目、表彰とする予定です。保護者の見学は原則1名、最大2名までとする予定(但し、就学前の乳幼児は人数のカウントに含めない)です。なお、本県に緊急事態宣言が再度発令されるなど、感染状況が悪化した場合は、無観客で開催もあることをご承知ください。

◇修学旅行(3年) 10/31(日)～11/2(火)

全行程貸切りバスを利用して北陸方面(石川県・福井県・滋賀県)での実施を予定しています。実施にあたっては、健康観察の徹底とバス内の過ごし方、三密を避けた見学、宿舎での過ごし方の指導に留意してまいります。

但し、愛知県に緊急事態宣言が再度発令されるなど、感染状況が悪化した場合は、再度の延期もあることをご承知ください。名古屋市にまん延防止等重点措置が実施されている場合は、訪問先の受入状況を確認し、感染防止対策を徹底した上で実施する予定です。なお、11月4日(木)は家庭学習日といたします。

◇校外学習(1・2年) 11月上旬

1年生は、11月1日(月)に貸切りバスを利用してリトルワールドでの国際理解学習、2年生は、日時・場所は現在調整中ですが、稲武野外学習で予定していたオリエンテーリングの実施を計画しています。

なお、愛知県に緊急事態宣言が発令されている場合や名古屋市にまん延防止等重点措置が実施されている場合でも、目的地が県内の場合は、訪問先の受入状況を確認し、感染防止対策を徹底した上で実施する予定です。

◇合唱発表会

年度当初は、10/29(金)に豊田講堂で「合唱祭」、年間行事予定変更後は、11/16(火)に校内で「合唱発表会」として実施する予定でした。

教育的意義の高い活動ですが、現在、音楽の授業での合唱指導が十分にできず、各学級での自主練習も十分にできないことから、残念ながら昨年度に引き続き中止といたします。

◇部活動について

10月1日(金)から活動を再開いたしますが当面の活動は授業日のみとし、活動場所は学校内のみといたします。また、対外的な練習試合・発表会・合同練習等は自粛いたしますが、公式戦及び競技連盟・団体主催の大会・コンクール等(以下、「公式戦等」)への参加や公式戦等に向けた調整のために必要と判断した練習・対外試合等※については、授業日以外に実施することもあります。部活動の活動の進め方については、各顧問からの指示に従ってください。

※「対外試合等」については、原則として、会場は市内とし1会場につき2~3校までの参加とします。

<課題研究作品展発表会>

昨年度は、夏季休業が短縮されたため、希望者のみの自由研究として実施しましたが、本年度は2年ぶりに全員参加の課題研究作品展を実施いたしました。9月6日(月)に各学級で課題研究発表会を行い、7日(火)、8日(水)に体育館と武道場で課題研究作品展を開催し、学年ごとに見学の時間を設けました。なお、期間中に臨時休業をした学級は臨時休業後に発表会を行い、視聴覚室で9月16日(水)~28日(火)まで作品展示を行いました。

緊急事態宣言中の開催でしたので保護者の方の参観はご遠慮いただきましたので、見学に際しては生徒がタブレットで作品展の様子を撮影することといたしました。



いずれ劣らぬ力作ばかりでしたが、審査の結果は以下の通りとなりました。

最優秀賞：10人(3年 7人、2年 2人、1年 1人)
金 賞：38人(3年 9人、2年 20人、1年 8人)
銀 賞：81人(3年 29人、2年 29人、1年 30人)



<学習者用タブレット端末の活用について>

先日、お伝えしたように10月4日(月)から学習者用タブレット端末の家庭への持ち帰りを実施いたします。家庭で調べ学習や課題を行ったり、授業での活用を図ったりしていきます。

授業では主に以下のような活用を目指します。

- ◇ ロイロノートの活用
個々の学習内容やまとめたことを共有し、協働的に学びます。
 - ◇ Qubena(キュビナ)の活用
国語・社会・数学・理科・英語の5教科でAIドリルに取り組みます。
 - ◇ スカイメニュークラウドの活用
教員用のタブレットの画面を生徒に提示するとともに、生徒の学習内容をリアルタイムで把握します。
 - ◇ マイクロソフト・チームズの活用
校内における試験的なオンライン授業(学活)の実施に取り組みます。
- 今後も各教科の実状に応じて、タブレットの活用を図ってまいります。